

Henkel

A Brand Like a Friend

Teroson

ドアパネルの钣金で困ったことはありませんか？

TEROKAL-5045

新車のドアパネルはサイドインパクトビームと外板パネルがシール剤で接着されている状態です。事故などで衝撃が加わるとそのシール剤がはがれてしまい、パネル钣金時に様々な問題を起こしてしまいます。

サイドインパクトビームと外板パネルの隙間に接着する工法をご紹介します。

当社の実験により高張力鋼板等のドアパネルの钣金作業において、歪みを防ぐ効果があることがわかりました



钣金作業開始



パテ乾燥完了



パネル裏面のシール剤をカットします



Terokal-5045を塗布します



これで裏側は出来上がりです



パテを研磨します



サフェーサー塗布します



全ての作業が終了しました。完全乾燥後も歪みは見られませんでした

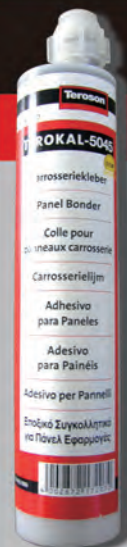
TEROKAL-5045
は収縮率が低いので
完全硬化後も歪みが
生じません！

サイドインパクトビームと外板パネルの接着が剥れると…

- 外板パネルのみをそのまま钣金すると走行中に振動で干渉して音が出ます
- パテが引けてパネル全体に歪みが生じます

是非お試しください！

TEROKAL-5045



自動車外板パネル用接着剤

販売代理店



株式会社ケンテックス

<http://www.k-knetex.co.jp>

担当者

〒224-0043 神奈川県横浜市都筑区折本町354
TEL:045-474-0805 FAX:045-474-0824

※この実験は性能を保證するものではありません。作業方法によっては不具合が出る可能性がありますので気おつけ下さい
※この実験と同じように作業をして出たトラブルには弊社は一切保証いたしかねますのでご了承ください